

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

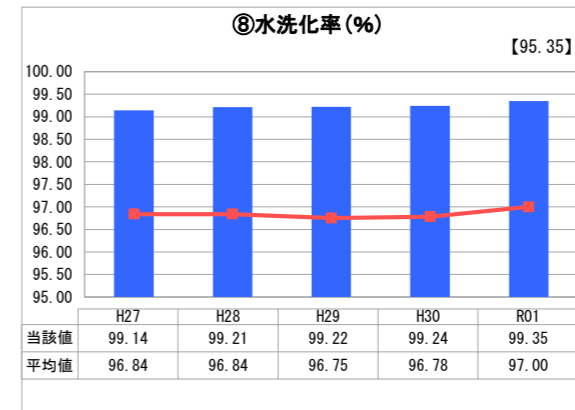
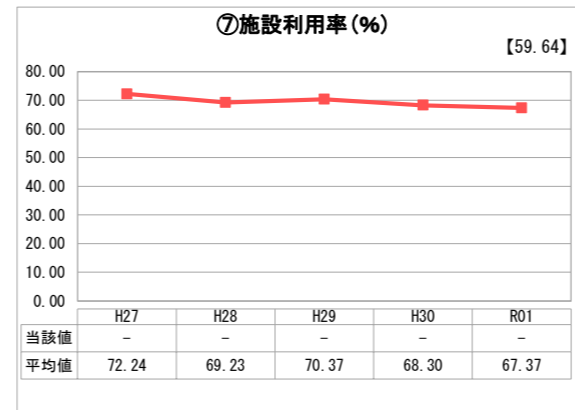
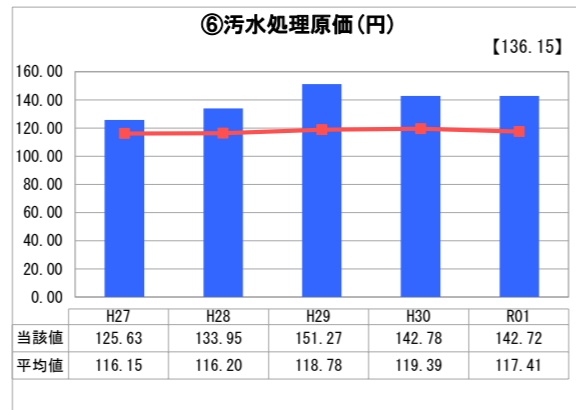
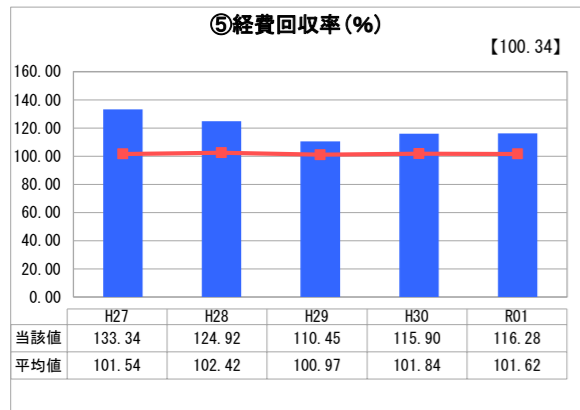
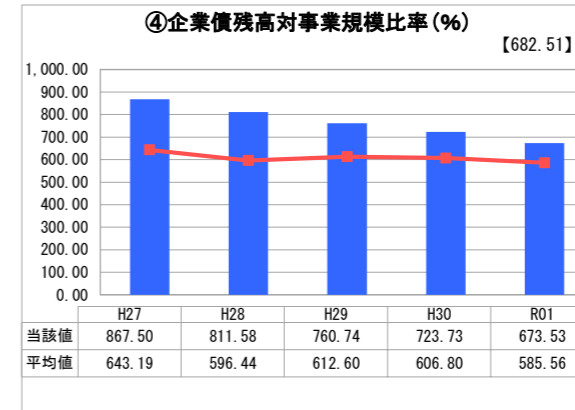
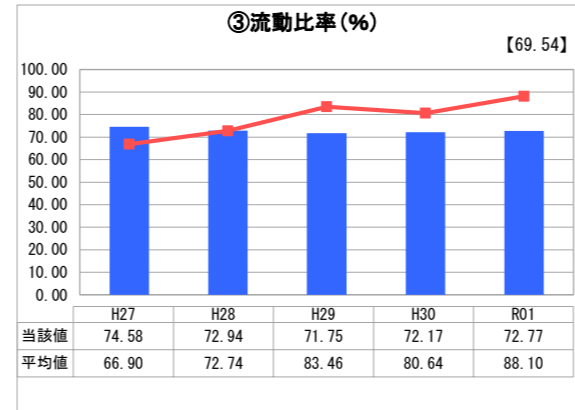
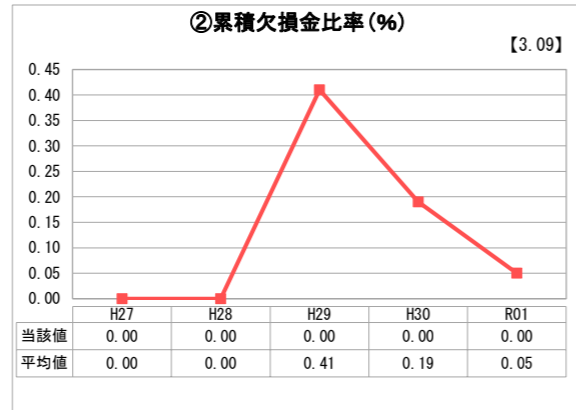
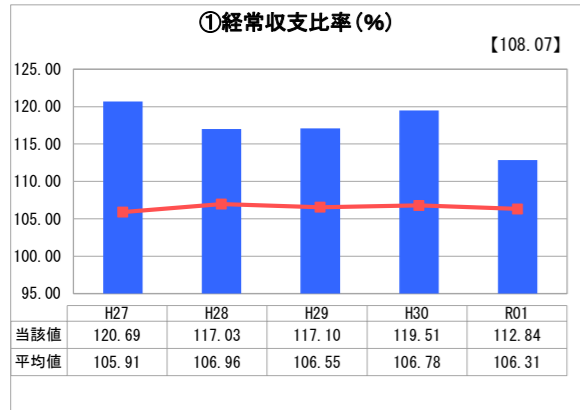
福岡県 春日市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ab	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	55.25	100.00	90.91	3,160

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
113,316	14.15	8,008.20
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
113,267	13.80	8,207.75

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

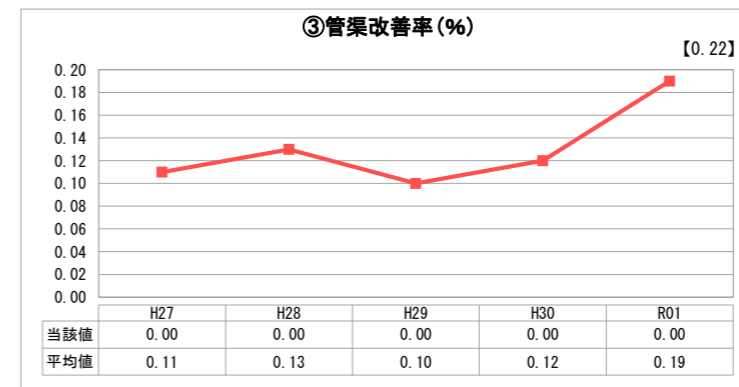
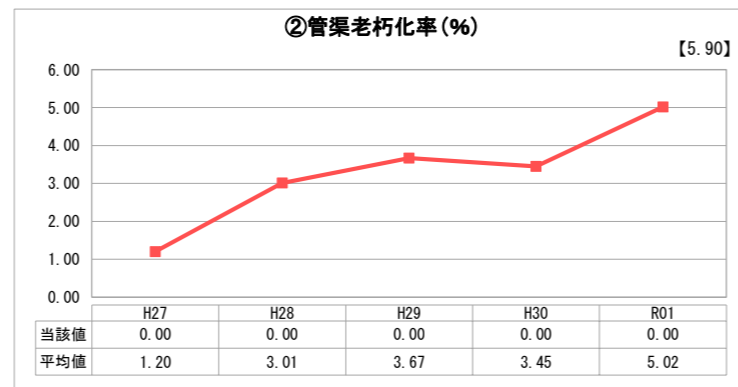
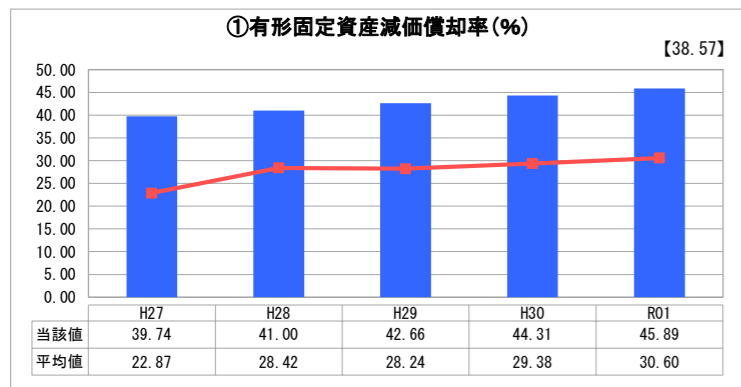
### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率  
100%を超えており、健全な経営状態です。また、類似団体の平均値を上回り、良好な水準です。令和元年度は特別利益の発生により一時的に低下しています。
- ②累積欠損金比率  
累積欠損金はありません。
- ③流動比率  
100%を下回っていますが、年間の使用料収入等で企業債などの返済は可能であり、支払能力に問題がある水準ではありません。
- ④企業債残高対事業規模比率  
類似団体の平均値と比較すると高い水準にあります。企業債残高の減少に伴い、年々減少しています。
- ⑤経費回収率  
100%を超えており、健全な経営状態です。また、類似団体の平均値を上回り、良好な水準です。平成29年度は、決算統計上、公費負担分の算定方法が変更となったことにより低くなりました。
- ⑥汚水処理原価  
類似団体の平均値と比較すると高い水準にありますが、今後は企業債残高の減少等に伴う支払利息（資本費）の減少により、当該比率は減少していく見込みです。平成29年度は、決算統計上、公費負担分の算定方法が変更となったことにより高くなりました。
- ⑦施設利用率  
汚水処理施設を所有していないため、当指標の表示はありません。
- ⑧水洗化率  
99%を超えており、類似団体の平均値と比較しても高い水準にあります。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率  
平成10年度に下水道の整備が完了しており、類似団体の平均値と比較すると高い水準にあります。今後、減価償却が進んでいくため、上昇していく見込みです。
- ②管渠老朽化比率  
令和元年度未現在、法定耐用年数を超過した管渠はありません。
- ③管渠改善率  
令和元年度未現在、法定耐用年数を超過、更新が必要な管渠はありません。今後、老朽化が進み、令和7年度以降は、法定耐用年数を超過した管渠が発生する見込みです。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

1. 経営の健全性・効率性  
経常収支比率については特別利益の発生により一時的に低下し、また、下水道使用料収入は横ばいですが、経費の削減により春日市の下水道事業の経営状態は引き続き健全であると判断できます。  
高い水洗化率や人口減少の見込みなどにより下水道使用料の大幅な増収は見込めない一方、管渠更新等に係る費用の増加が見込まれ、健全な経営状況を継続するためには、企業債残高の減などの経費の削減に引き続き努める必要があります。
2. 老朽化の状況  
「老朽化の状況」を示す3つの項目のうち、「有形固定資産減価償却率」「管渠老朽化率」は、老朽化の進行に伴い、悪化していく見込みです。老朽化による事故を未然に防ぐため、下水道ストックマネジメント計画に基づき計画的かつ効率的な施設の更新を行う必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。